

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年7月18日・第81号---

<目次>

●等々力緑地の環境は守られるのか。

■学校給食無料化署名、7月12日現在で、5,124筆

▲お知らせコーナー

☆2023年度教科書展示会(2024年度からの小学校教科書を展示)

☆7/22(土)財政学習会「-財務分析で知る市政の特徴-」

☆7/29・30かわさき演劇まつり「モモ」

★編集後記

●等々力緑地の環境は守られるのか。

～川崎市が、等々力緑地の再編整備計画の環境配慮計画パブコメへの見解書を発表～

中原区の等々力緑地の再編整備と運営に企業が参入することによる環境アセス配慮計画が5月に発表され、市民意見の募集が行われました。

今回7月12日に市民意見に対する見解書が発表され、26日まで縦覧しています。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000152844.html>

市民意見に市側はどう答えたか。

見解書の第3章が市民意見と川崎市側(緑政局)の見解の部分で、約22ページ分です。

市民意見では、周辺住宅地への騒音問題、道路混雑問題には、周辺住民から現状でもおおいに困っているのに、さらに、人が集まり、イベントが増えることへの反対意見が多く提出されています。

また、樹木の伐採についての不安や、自然の減少、空地の減少に対する反対意見も多く出されています。

多量の樹木の伐採問題や緑の保全などでは、一定の改善や配慮への前向きな回答が見られますが、これから事業者によるアセス方法書や準備書などの手続きでどう具体化されるか注目が重要です。

印象に残った意見の一例と市の回答を紹介します。

【市民意見書9】

三角地に店舗がたくさん計画されていると知り、困惑しています。

この空間は何もない無駄な土地と思われるかも知れませんが、夏には子どもたちが蝶・トンボ・虫などを捕りにきます。

また、親子がキャッチボールやバドミントンをしたりして楽しんでいます。

草と土と空だけで他にないものがないことがどれだけ豊かなことが考えてみてください。

昔から等々力緑地は「鳥獣保護区」に指定されていましたが、今や消え失せようとしているなかで、たったこれだけの小さな本当の自然を失くして、なぜ店舗など必要なのでしょう。

【市側の意見】

これまでの概念にとらわれない柔軟な発想を取り入れた飲食・物販・スポーツ・市民活動・趣味・学び・文化・体験など多様な要求に対応する提案を求めています。

また、周辺地域との環境や都市基盤への影響を考慮したものとなるように求めています。

この提案(市民からの)は事業者に申し伝えます。

川崎市側は、いろいろ言葉を弄していますが、結局は、空間を残してほしいという市民意見には、ゼロ回答で、あくまで店舗建設を容認していると言えるでしょう。

市民の意見を聞くというのなら、たんなる事業者への申し伝えではなく、店舗の廃止や縮小などの市側の意見も添えての申し伝えであるべきでしょう。

アセスの各段階でパブリックコメントを実施しますので、あきらめずに、どんどん意見を上げて行きましょう。

このメルマガでも、引き続き、お知らせしていきます。

■学校給食無料化署名、7月12日現在で、5,124筆が集まりました

夏休みの心配は、子どもたちの食事！

夏休みがやってきます。子どもたちの顔も笑顔がいっぱい。

でも、夏休みの心配は、子どもたちの食事です。栄養価のある食事を与えたいけれど、すさまじい物価高騰が続くなかで、家計への負担が大変です。

NPO 法人キッズドアの調査(2022年11月)では、「子どもに食べさせるために保護者の食事を減らしたり抜いたりした」との回答が49%にのぼりました。

それでも、普段の生活で「三食、食べている子ども」は68%でした。そのうちの1食は、学校給食です。

「夏休み明けになると、すっかりやせた子どもが登校してくる。」という学校現場からの声も聞きました。

学校給食は、今の日本の多くの子育て家庭には、とても大切な意義があることがわかります。

<川崎各地で進む給食無料化署名>

川崎では、学校給食の無料化を求める署名運動が、今、市内各地で進んでいます。

この運の事務局となっている「ゆきとどいた教育をすすめる川崎市民の会」は、7月12日に第1回集約を実施し、署名数で、5124筆を確認しました。

目標1万筆の50%が集まりました。順調なスタートです。

<各地での署名活動の経験交流>

会議で署名活動の経験交流が行われました。一部を紹介します。

川崎区では、6月28日(水)川崎区社保協の宣伝を実施し、全体で25名が集まりました。

ふじさきクリニック前、協同病院前、桜本商店街、ライフ前の4カ所で宣伝と署名活動を行いました。

今月は、国保組合の保険証継続と、川崎市小学校給食費無償化を求める署名を集中して行い、保険証継続が、128筆、給食費無償化を求める署名が57筆の集約でした。

土建組合が新しく作成したのぼり旗も初めて使用しました。

人通りは決して多くはありませんが、道行く人や、病院を出入りする市民に声をかけると、「再来年子供が小学校に入学する。無償化にして欲しい」という声が多くかかりました。

昨日は、幸区の鹿島田マルエツ前でも「幸区社保協宣伝」に参加しました。

同様に多くの方に署名してもらいました。

中原区新婦人は、7月3日9時半から約1時間、等々力公園で署名活動を行いました。結果は、会員9名で行動し、48筆が集まりました。

この日は、気温が31度で、期待した親子連れは全く見当たらず、木陰で涼んでいる方やウォーキ

ングの方、アリーナで運動帰りの方、会員の知り合いのお宅訪問などを通して、声をかければほとんどの人は気持ちよく応じてくれました。

川崎市の行政の事、リニアの事など会話が盛り上がりました。

中原区新婦人は、これからも公園での署名活動を進める計画です。

多摩区では、現在まで、4回の署名活動に取り組みました。

7月は後2回取り組む予定です。参加してくれる人が多いほど、元気も筆数も集まります。ここが一番の課題です。

幸区や宮前区でも、子育て世代への働きかけに重点を置き、公園訪問などを進めています。

☆次の第2回集約日は、8月16日(水)です。よろしくお願ひします。

署名用紙は、民主市政をつくる会のホームページからダウンロードしてください。

<https://newkawasaki.jp/2023/06/29/post-2310/>

▲ お知らせコーナー

☆2023年度教科書展示会(2024年度からの小学校教科書を展示)

- 1, 宮前市民館 7月14日から7月19日まで 10時から18時まで
- 2, 多摩市民館 7月21日から7月26日まで 10時から18時まで
- 3, 麻生市民館 7月28日から8月2日まで 10時から18時まで

※全会場とも、12時から13時までは閉室です。

☆川崎市財政学習会「川崎市のふところ具合一財務分析で知る市政の特徴」

講師: 眞嶋康雄(全国商業教育研究協議会事務局長)

7/22(土)18時より

かわさきゆめホール

主催: 川崎民主市政をつくる会

Zoom ミーティング ID: 247 279 0410 パスコード: 4JqYyP

☆第40回記念・かわさき演劇まつり「モモ」

7/29(土)11時・15時半

7/30(日)11時・15時半

多摩市民館大ホール

一般:3000円・高校生以下・障がい者 1000円

演出:大西弘記・制作:柳沢芳信

ミヒャエル・エンデ「モモ」がドイツで初めて出版されてからちょうど50年

時間の節約、効率化が、人間に何をもちたらずか・・・色あせることのないテーマ。

市内在住、「演劇は世直し」「一筋の涙」を標榜する大西弘記さんが、60名を超える市民とともに作り上げる圧巻の舞台。

主催:かわさき演劇まつり実行委員会/公財川崎市文化財団

共催:川崎市・川崎市教育委員会

<https://www.kbz.or.jp/event/theaterfestival-20230729/>

★編集後記

おしどりマコ&ケンという夫婦漫才コンビをご存じですか。

311フクシマ事故以来、原発の危険性を様々な形で訴え続けています。

最近のブログで、「ヨウ素129」について取り上げています。

頻繁に語られるトリチウムは半減期が12年。

確かに薄めて放出してもいつかはなくなっていくというイメージがしやすい。

ところが、処理水に含まれているトリチウム以外の核種の中で最も多いのがヨウ素129。

ヨウ素129の半減期は1570万年。つまり、「永久に環境中に残る」と断言しても問題ないレベル。

それが、海藻に蓄積される。そして、それを食べるあんこうなどの底魚の肝臓に蓄積されるらしい。

ちなみに安定ヨウ素剤を事前に服用すると放射性ヨウ素が甲状腺に蓄積するのを防ぐ効果があります。あん肝を食べるなら安定ヨウ素剤！？(Y)

<http://oshidori-makoken.com/2023/07/15/alps>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき!☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

<https://my922p.com/User/cancel/b5NuhHVfvBkZ/>

誤って解除した場合、以下のアドレスまでご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp